

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
専門学校麻生医療福祉 &観光カレッジ		平成8年3月4日	富田 博之		〒804-0092 福岡県北九州市戸畑区小芝3-3-1 (電話) 093-882-0001		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	理事長 麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3番83号 (電話) 0948-25-5999		
目的	多様化するホテル・ブライダル業界で、即戦力として活躍できる人材の育成を目標とする。 ホテルマン・ブライダル産業における基礎知識、専門技能、サービスマインド、語学力、パソコンスキルを有し、さらに現場での研修を通じ、実務知識、実務能力を身に付ける。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
商業実務	商業実務専門課程	ホテル・ブライダル科		平成22年文部科学省告示第153号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	1865	795	765	320	0	30
		単位時間					
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数		総教員数
60		38		2	15		17
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度、確認テスト等の総合評価を行う。評定は、S・A・B・C・Dの5ランク		
長期休み	■夏季:8月4日～8月31日 ■冬季:12月22日～1月8日 ■春季:3月6日～4月4日		卒業・進級条件		ア.指定科目全ての修得 イ.各学年の出席率90%以上 ウ.卒業基準検定の取得 エ.学生としてふさわしい生活態度		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 本人、保護者への電話連絡や面談等を行う		課外活動		■課外活動の種類 ボランティア活動等 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ホテル・ブライダル・旅行等 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成 28 年度卒業者に関する 平成29年4月1日 時点の情報)		主な資格・検定等		実用英語検定 TOEIC ABC検定 HRS検定 色彩検定 マナープロトコール検定		
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成28年4月1日時点において 在学者 41名 平成29年3月31日時点において 在学者 39名 ■中途退学の主な理由 経済的困難、進路変更(就職)		■中退率 4.9% (平成28年4月1日入学者を含む) (平成29年3月31日卒業者をを含む)				
	■中退防止のための取組 適性検査の実施、検査結果による面談 スクールカウンセラーの配置 クラス担任による定期ガイダンスや三者面談の実施						
ホームページ	http://www.asojuku.ac.jp/amkc/						

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

学生の主な就職先であるホテル、ブライダル業界における、専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会では次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

また、業界で仕事をされている兼任教員や、学生の就職先企業の方との意見交換を随時行う。さらに、ホテル実習やブライダル実習の連携企業に評価表をいただいたり、卒業生の就職先企業に対しお客様アンケートを実施することにより、学生に不足する、あるいは必要とされる能力を把握する。これらのことにより得た結果も、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とした教育課程編成委員会を置く。

ホテル、ブライダル業界における企業や関連団体の意見や要請等を把握・分析し、カリキュラム全般ならびに授業内容、方法、教員研修等への活用とする位置づけとしている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
白濱 正信	九州BMC	2017.4.1～2018.3.31	①
竹之内 豊文	株式会社リーガロイヤルホテル小倉	2017.4.1～2018.3.31	③
津田 徳子	専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ 校長	2017.4.1～2018.3.31	
井上 ゆかり	専門学校麻生医療福祉&観光カレッジ 教務	2017.4.1～2018.3.31	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間開催数)

2回

(開催日時)

第1回 平成28年 6月16日 16:00～17:15

第2回 平成28年11月10日 16:00～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

外国人観光客の増加により、英語に加えてさらに第二外国語の必要性が高まった。中国語、韓国語のどちらかを選択科目として追加。業界のニーズに対応し、コミュニケーション力の高い人材を育成する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ホテル、ブライダル業界を中心に広くサービス業に携わる学科であることから、お客さまに対するホスピタリティを学ぶため、企業と連携し現場実習を経験する。ホテル実習では、フロント、客室、ベル、レストラン等、ホテル内の多様な業務を体験させる。またブライダル実習では、ハウスウエディング、ホテルウエディング、ウエディング衣裳等の企業で実習を行うことで、実務レベルの技術を身に付ける。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

学生の実習目標を定め、事前に企業担当者と打ち合わせ及び覚書にて、業務内容・勤務時間等の確認をする。実習期間中は、学生及び実習担当者とのヒアリングを行い、学生の能力向上が効果的にできるよう助言を行う。また専用記録ノートにより、具体的な業務の指示を明確にし、成果を確認する。最終評価として、実習先企業より学生ごとの評価表をいただく。

(3) 具体的な連携の例		
科目名	科目概要	連携企業等
ホテル実習	企業連携により実施する、10週間のホテル実習を通してホテルにおいて必要とされる知識・技能を修得することを目的としている。業務内容・実習期間・評価方法を明確に定め、その内容に沿った指導と評価を受けることで学内での学習との相乗評価を図っていく。	グランドハイアット東京/ヒルトン東京 お台場/ホテルオークラ東京/ミリアル リゾートホテルズ/セントレジス大阪/ 株式会社帝国ホテル大阪/北九州八 幡ロイヤルホテル/ホテル日航アリビ ラ等 計14社
ブライダル実習	企業連携により実施する、2週間のブライダル実習を通してブライダル業界において必要とされる知識・技能を修得することを目的としている。業務内容・実習期間・評価方法を明確に定め、その内容に沿った指導と評価を受けることで学内での学習との相乗評価を図っていく。	アーフェリーク迎賓館小倉/株式会社リーガ ロイヤルホテル小倉/小倉ターミナルビル株式 会社ステーションホテル小倉/ブライダルハウス はなだ/株式会社山田屋等 計7社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「学校法人麻生塾 教職員研修規程」に基づき、計画的に教員を研修に参加させる。研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・トーマスアンドチカライシ株式会社主催 カ石寛夫ホスピタリティセミナー2016
- ・オータパブリケーション主催 ホテル業界合同企業セミナー ホテル経営者特別セミナー2016

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・一般社団法人職業教育・キャリア教育財団主催 専修学校教員認定制度にかかる新任教員研修
- ・麻生塾における学内研修

1. 授業力向上
2. 情報セキュリティ
3. アカデミックハラスメント
4. コンプライアンス
5. インストラクショナルデザイン

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

- ・シンガポール海外研修 (現地ホテル・ブライダル施設インスペクション、海外ホテル事情に関する講話、JTBシンガポール支店講話)
- ・ホテル業界合同セミナー (オータパブリケーション主催)
- ・ブライダル業界セミナー (オータパブリケーション主催)

② 指導力の修得・向上のための研修等

- ・専修学校教員認定制度にかかる新任教員研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の教育方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者の参画を得て、包括的・客観的に判定する事で、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また情報を公表する事により開かれた学校作りを行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	・建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育人人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。
(2) 学校運営	・学校の管理・運営体制が確立して、規定通りに運営しているか。
(3) 教育活動	・学科の教育目的、育人人材像に向けたカリキュラムの作成等の取組をしているか。 ・教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取組をしているか。 ・業界ニーズに対応した付加的教育の取組をしているか ・教員の資質維持や向上にむけた取組をしているか
(4) 学修成果	・各学科の教育目的に向けた達成度および成果を評価・公表しているか。
(5) 学生支援	・学生支援体制を整備し、支援を組織的に行なっているか。 ・卒業生等に対する支援を行なっているか。

(6)教育環境	・教育の実施体制を整備しているか。 ・教育環境を整備・活用しているか。
(7)学生の受入れ募集	・学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか。
(8)財務	・学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。
(9)法令等の遵守	・学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善の為にシステムが構築されているか。
(10)社会貢献・地域貢献	・意図的・計画的・組織的に社会活動への取組が推進されているか。
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

平成28年度学校関係者評価委員会にて、学内外実習時の安全対策規定の文書化をご指摘いただいたため、直ちに明文化し整備を行った。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
青木 圭子	福岡県立折尾高等学校 校長	2016.4.1～2018.3.31	高等学校教員
安部 久美子	ホテル・ブライダル科在校生保護者	2017.4.1～2019.3.31	保護者
井手 國昭	三六まちづくり協議会 会長	2016.4.1～2018.3.31	地域住民
伊藤 美穂	ホテル・ブライダル科卒業生	2016.4.1～2018.3.31	卒業生
今仁 優衣	子ども福祉科卒業生	2016.4.1～2018.3.31	卒業生
上田 恵理奈	医療秘書科卒業生	2016.4.1～2018.3.31	卒業生
大郷 直美	医療法人おおごう会 大郷内科クリニック 理事	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者
沖田 由美子	レンタルブティック&ウエディング ウィズワタベ 代表取締役	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者
北島 武	新門司フェリーサービス株式会社 営業次長	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者
城田 浩太郎	介護福祉科卒業生	2016.4.1～2018.3.31	卒業生
竹之内 豊文	株式会社リーガロイヤルホテル小倉 グループサービスチーム担当部長	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者
能美 和則	学校法人青山幼稚園 理事長	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者
疋田 賢吾	医療法人おおごう会 介護事業部長	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者
山下 照彦	株式会社スターフライヤー 総務人事部部長	2016.4.1～2018.3.31	企業・業界関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・8月

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/disclosure/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供する事で、学校運営の透明性を図ると共に、本校に対する理解を深めて頂く事を目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、校訓、沿革、所在地、連絡先、魅力、麻生塾の取り組み
(2)各学科等の教育	定員、カリキュラム、時間割、取得可能な資格、国家試験、内定実績
(3)教職員	教員一覧
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職進学サポート
(5)様々な教育活動・教育環境	年間行事
(6)学生の生活支援	学生寮、国際交流センター
(7)学生納付金・修学支援	募集要項、(株)麻生飯塚病院奨学金、日本学生支援機構奨学金制度
(8)学校の財務	財務情報
(9)学校評価	自己点検・評価報告書、学校関係者評価委員会報告書
(10)国際連携の状況	海外教育機関との連携、海外提携校
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/>(学校法人麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/amkc/>(専門学校麻生医療福祉&観光カレッジホームページ)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ホテル・ブライダル科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ホテル・ブライダル業界研究	情報収集の方法を学び、ホテル・ブライダル業界に関する知識を深める	1前	15		○			○		○		
○			レストラン実務①	レストランでのサービスについて実践形式で学ぶ	1前	30			○		○				○
○			レストラン実務②	レストランでのサービスについて実践形式で学ぶ	1後	30			○		○				○
○			接客演習	サービス業界で通用する接客マナーを学ぶ	1前	15		○			○		○		
○			バンケット演習	ホテルなどで行われる宴会業務について学ぶ	1後	15			○		○				○
○			ホテル概論①	ホテルの歴史、組織などホテル業界全般について学ぶ	1前	15		○			○				○
○			ホテル概論②	ホテルの歴史、組織などホテル業界全般について学ぶ	1後	15		○			○				○
○			宿泊実務①	宿泊部門の役割、業務内容について実践形式で学ぶ	1前	15		○			○				○
○			宿泊実務②	宿泊部門の役割、業務内容について実践形式で学ぶ	1後	15		○			○				○
○			GCB I	感謝心と思いやりを学ぶ	1前	15		○			○		○		
○			GCB II	志について学ぶ	1後	15		○			○		○		

○		社会教養Ⅱ②	企業研究、履歴書の書き方など就職活動に必要な知識の習得を目指す	2後	30			○	○	○			
○		プレゼンテーション演習	パワーポイントを有効活用できるプレゼンテーションスキルを習得する	2前	30			○	○		○		
○		実用英語補講Ⅱ	模試を中心とした検定直前対策を行う	2後	30			○		○	○		
○		プロトコール	冠婚葬祭及び国際プロトコールについての知識を身につける	2前	30			○		○		○	
	○	ブライダル実習	地元のブライダル施設を対象にした現場実習を行う	1後	80				○		○	○	○
○		ホテル実習	全国のホテルを対象に、実際の現場にて実習を行う	1前	240				○		○	○	○
合計			59 科目	1865単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
ア. 当該学科の所定の科目をすべて履修していること。	1 学年の学期区分	2期	
イ. 卒業基準検定を取得していること。			
ウ. 学年の出席率が90%以上であること。	1 学期の授業期間	15週	
エ. 各授業科目の授業回数の3分の2以上出席し、Cランク以上の評価を取得する。			

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。